

# 「障害福祉のめざすべき道」

～障害者自立支援法のさらなる検証～

## 目的

障害者自立支援法第1条の目的に「障害者基本法の基本的理念にのっとり、(中略)障害者及び障害児がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスに係る給付その他の支援を行い、もって障害者及び障害児の福祉の増進を図るとともに、障害の有無にかかわらず国民が相互に人格と個性を尊重し安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与すること」と謳われている。

しかし、障害者自立支援法は、あまりにも大きな変革であったため、現場の実態とはかけ離れ、当事者や事業者から様々な軋轢や多くの問題点が指摘されている。特に安定的なサービス体制の確保や人材の確保という点においては、さらなる改善を図る必要がある。

そこで、本会議では、障害者自立支援法施行後3年が経過し、真に現場の実態に即した制度に見直しがなされているのか、①法人経営のあり方、②入所施設の方向性、③新事業体系の課題、④障害程度区分の見直し、⑤障害児施策の在り方、といった現場で抱える5つの課題に焦点を当て、おおいに議論を交わしていただきたい。そして、障害者自立支援法のさらなる検証を行い、今後の障害福祉のめざすべき道=方向性を示していくことを目的とする。

## 主催

財団法人日本知的障害者福祉協会

## 後援(予定)

厚生労働省、文部科学省、社会福祉法人全国社会福祉協議会、社団法人全国脊髄損傷者連合会、社団法人日本精神科病院協会、全国社会就労センター協議会、社会福祉法人全国精神障害者社会復帰施設協会、全国知的障害者施設家族会連合会

## 開催日

平成21年5月25日(月)・26日(火)

## 会場

パシフィコ横浜(別紙参照)

- 全体会(5月25日) 国立大ホール
- 分科会(5月26日) 国立大ホール・会議センター

## 日程

### 第1日目(5月25日) 全体会

11:30	12:30	14:00	14:45	15:00	17:00
受付	開会式 愛護福祉賞 協会活動報告 国政報告	行政説明	休憩	シンポジウム	

### 第2日目(5月26日) 分科会

9:00	9:30	11:30	12:30	15:00
受付	午前の部	休憩	午後の部	

## プログラム

### 第1日目

#### ■開会式・愛護福祉賞授賞式・協会活動報告■

12:30～13:30

#### ■国政報告■

13:30～14:00

木村 義雄（自由民主党障害者福祉委員長）

#### ■行政説明■

14:00～14:45

調 整 中（厚生労働省障害保健福祉部）

#### ■シンポジウム■

15:00～17:00 シンポジウム「障害者自立支援法の改正とこれから」

シンポジスト	調 整 中（厚生労働省障害保健福祉部）
	初谷 良彦（愛知淑徳大学医療福祉学部教授）
	本名 靖（東洋大学ライフデザイン学部教授）
	里見 吉英（ふる里学舎 施設長 / 政策委員会委員）
司 会	光増 昌久（松泉学院 施設長 / 政策委員会委員）

### 第2日目

#### ■第1分科会■ 「施設・事業経営を考える」 ～障害者自立支援法の見直しによる法人経営のあり方～

障害者自立支援法は、事業者への事務の煩雑化をもたらすと同時に報酬日払い及び単価の低さによる収入減をもたらした。その結果、事業経営は厳しくなり、人員配置不足・労働条件の悪化等から人材の確保と育成やサービスの質の確保に困難さを生じさせた。利用者への質の高いサービスを提供するためには、時代をしっかりと掴んだパラダイム変換の視点を持った事業経営を行っていかなければならない。本分科会をそのための機会づくりとしたい。

9:30～11:00 講 演 「社会福祉法人を取り巻く経営環境と障害者福祉」

武居 敏（社会福祉法人聖隷福祉事業団）

12:00～15:00 シンポジウム 「事業経営とサービスの質の確保について」

シンポジスト	西原雄次郎（ルーテル学院大学教授）
	西田 和弘（岡山大学法科大学院教授）
	上地 明德（日本インベスターズ証券(株)専務取締役）
司 会	久木元 司（社会福祉法人常盤会 理事長）

## ■第2分科会 ■ 「入所施設の方向性とその役割」 ～高齢知的障害者の問題とこれからの施設福祉～

知的障害者の入所施設における高齢化は急速に進んでいる。その支援体制の整備は今後の入所施設の新たな方向性と役割の中で大きく求められるところである。本分科会においては、介護老人施設における高齢者介護と支援の現状と課題について学ぶとともに、高齢知的障害者の支援のあり方について検証する。

- 9:30～11:30 講演 「介護老人施設に学ぶ」  
～ユニットケアの現状と課題、そして高齢者支援のあり方～  
福森和千代（特別養護老人ホームやすらぎ荘 施設長）  
聞き手  
瀬野 淳一（銀山学園 施設長 / 更生施設分科会座長）
- 12:30～15:00 シンポジウム 「高齢知的障害者の支援」  
～入所施設に求められる新たな方向性と役割～
- シンポジスト 高田 雄二（青雲 施設長）  
安田 陽（厚木精華園 施設長）  
畑 武子（厚木市高齢者施設オンブズパーソンネットワーク スーパーバイザー）
- 司 会 里見 吉英（ふる里学舎 施設長 / 政策委員会委員）

## ■第3分科会 ■ 「新事業体系の運営と課題」 ～その取り組みと地域での暮らしを考える～

グランドデザインに始まり支援費制度、さらに障害者自立支援法といった障害者施策は、期待と不安の交錯する中、今日を迎えている。法の施行が進むにつれて、法の理念がこの国の経済状態、構造改革の名のもと次々と歪められてきている観がある。そこで、厳しい環境を認識しつつ、施設経営、福祉サービスのあり方、責任の所在を明確にする必要がある。そのような中で、障害者自立支援法に基づく事業に移行した施設・事業所の実践を報告してもらい、新事業体系における運営や課題について検討する場とする。さらには各地域の実践現場の状況をもとに障害福祉のあるべき姿、法の理念実現に向けた経営のあり方、法制度に対する提言を導き出したい。

- 9:30～10:45 講演 「新事業体系が目指す障害福祉サービス（三年目の見直しから）」  
赤塚 光子（元立教大学コミュニティ福祉学部教授）
- 10:45～11:30 実践報告 「新事業体系移行で目指す目的と制度的課題について」  
高山 和彦（社会福祉法人同愛会 理事長）
- 12:30～15:00 シンポジウム 「障害者自立支援法が目指す施設運営、福祉サービスのあるべき姿」
- シンポジスト 橘 文也（ハロー ENJOY 施設長）  
分枝 勝則（妙光園 施設長）  
高山 和彦（社会福祉法人同愛会 理事長）
- 助言者 赤塚 光子（元立教大学コミュニティ福祉学部教授）
- 司 会 菊地 達美（那須共育学園 施設長）

## ■第4分科会 ■ 「変わる！障害程度区分」～新たな区分でどう変わっていくの～

平成24年度の法改正において、障害程度区分が名称も含め、見直しが予定されている。本分科会では、障害程度区分の抜本的な見直しに向けた最新の動向と福祉協会の取り組みを紹介し、今後、知的障害のある人が真に必要なサービスを利用するため重要なポイントを考える。

9:30～11:30	講演	「知的障害のある人が、サービスを受けるために必要なこととは」 ～障害程度区分が我々に投げかけた課題とこれからを考える①～
	生川 善雄	(千葉大学教育学部教授)
12:30～15:00	シンポジウム	「知的障害のある人が、サービスを受けるために必要なこととは」 ～障害程度区分が我々に投げかけた課題とこれからを考える②～
シンポジスト	最上太一郎	(わらび学園 施設長 / 政策委員会委員長)
	長谷川浅美	(しろがね苑 施設長 / 政策委員会委員)
	佐々木敏宏	(ワークセンターけやき 施設長 / 調査・研究委員会委員長)
助言者	生川 善雄	(千葉大学教育学部教授)
司会	河原 雄一	(湘南セシリア 施設長 / 政策委員会副委員長)

## ■第5分科会 ■ 「これからの障害児施設の在り方の具体化に向けて」

知的障害児施設及び知的障害児通園施設・児童デイサービス事業は、国の障害児支援の見直しに関する検討会及び社会保障審議会障害者部会における障害児支援の見直し報告に基づき、今後の施設の在り方について具体化の検討が行われる重大な時期にある。本分科会では、今後の障害児施設の在り方の検討に向けた関係施設の将来に係る諸課題について検討し、その方向性を確認する。

9:30～10:15	行政説明	「これからの障害児施設の在り方の具体化に向けて」
	調整中	(厚生労働省障害保健福祉部)
10:15～11:00	講演①	「これからの通園施設の在り方について」
	宮田 広善	(全国肢体不自由児通園施設連絡協議会会長)
11:00～11:45	講演②	「障害児施設の一元化に向けて ～医療型施設の今後について～」
	君塚 葵	(全国肢体不自由児施設運営協議会会長)
12:45～15:00	鼎談	「障害児支援の今後の方向性から障害児施設のあり方について」
(12:45～13:45)	鼎談①	「通園系の施設支援について」
	宮田 広善	(全国肢体不自由児通園施設連絡協議会会長)
	加藤 淳	(全国発達支援通園事業連絡協議会事務局長)
	米川 晃	(柏学園 施設長 / 児童通園施設・児童デイサービス事業分科会座長)
(14:00～15:00)	鼎談②	「入所系の施設支援について」
	君塚 葵	(全国肢体不自由児施設運営協議会会長)
	菅野登一郎	(全国盲ろう難聴児施設協議会会長)
	田中 齋	(桐友学園 施設長 / 発達支援部会児童施設分科会座長)

## 参加対象

- ①知的障害関係施設・事業所の長・中堅幹部職員
- ②法人理事長
- ③地方自治体の担当者および関係者
- ④その他（知的障害福祉に従事している方、または興味のある方など）

## 参加費

- 15,800 円（会員・準会員の施設・事業所の方）  
25,000 円（非会員の施設・事業所の方、地方自治体行政関係者、その他）

## 参加申込等

- ① 8 頁「参加申込書」に必要事項を記入のうえ、「参加・宿泊申込み案内」記載の申込先 **日本旅行に郵送または F A X (03-3592-0880・03-3593-0688)** にてお申込みください。
  - ② 申込み受付のお知らせとして「参加申込み・宿泊のご回答」を FAX にて(株)日本旅行よりご連絡申し上げますので、ご確認のうえ記載の振込先に参加費をお振込みください。
  - ③ 上記①、②をもって参加申込みとし、参加申込者へは参加証を郵送いたします。当日はこの参加証にて受付・資料の引換えをいたしますので、必ずご持参ください。
  - ④ 参加費の返金は行いません。ただし、参加申込者が欠席した場合は、後日会議資料を郵送いたします。
- ※今回より、インターネットでの申込みも可能となりましたので、日本知的障害者福祉協会ホームページをご覧ください。

## お問い合わせ先

### 開催事務局（会議の内容に関するお問い合わせ）

財団法人 日本知的障害者福祉協会 全国知的障害関係施設長会議係  
〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19 KDX 浜松町ビル 6 階  
TEL：03-3438-0984

### 申込み（参加申込・宿泊に関するお問合せ先）

(株)日本旅行東京法人営業部 全国施設長会議デスク 担当：田口真佐子・舟木健一郎  
〒105-0004 東京都港区新橋 2-16-1 ニュー新橋ビル 9 階  
TEL：03-3593-0321  
FAX：03-3592-0880・03-3593-0688